

豊かな実績・確かな信頼

**Manol**<sup>®</sup>

アクリル樹脂系多機能浸透プライマー

**MAIL**<sup>®</sup>

× **プライマーコートAC**

×  
〈寒冷地対応〉  
接着増強  
プライマー

表面浸透強化

乾燥防止  
被膜養生

コテ仕上げ  
補助剤

日本建築仕上材工業会登録

登録番号 2010020

放散等級  
区分表示 F☆☆☆☆

問合せ先 <http://www.nsk-web.org/>



株式会社 **MAIL**<sup>®</sup>

# アクリル樹脂系多機能浸透プライマー マノールプライマーコートAC

マノールプライマーコートACは原液使用タイプのアクリル樹脂系多機能浸透プライマーです。粒子が小さい為浸透性に優れ、耐摩耗性も向上します。また、凍結温度が低く、寒冷地で扱いやすいプライマーです。

## 特長・用途

### ● 寒冷地での接着増強プライマー

液の凍結温度(-2°C~-3°C)が低い為、寒冷地に適した材料となっております。

### ● 表面浸透強化

脆弱下地に塗布することで、耐摩耗性の強化や接着力の増加が期待できます。また、硬化したドクター1の表面に塗布することで塩化物の侵入を抑制します。

### ● 乾燥防止被膜養生

打設したモルタル・コンクリートの浮き水がなくなったタイミングで塗布することで、乾燥収縮を低減し、ひび割れを抑制します。

### ● コテ仕上げ作業補助

モルタル・コンクリート打設後に塗布することで、コテ押さえや定規ずりの作業性が向上します。

## 性状及び荷姿

主成分	外観	比重	荷姿
アクリル樹脂系エマルジョン	乳白色液体	1.03	18kg缶 4kgポリ容器

## 標準使用量（原液使用）

用途	塗布量の目安 (kg/m <sup>2</sup> )量	使用可能面積	
		18kg	4kg
接着増強プライマー	0.15(1回塗り)*1	約120m <sup>2</sup>	約26m <sup>2</sup>
表面浸透強化	0.30(1回塗り)*2	約60m <sup>2</sup>	約13m <sup>2</sup>
乾燥防止被膜養生	0.20(1回塗り)*3	約90m <sup>2</sup>	約20m <sup>2</sup>
コテ仕上げ補助剤	0.20(1回塗り)*4	約90m <sup>2</sup>	約20m <sup>2</sup>

\*1. 下地の状況により吸水が激しい場合は、2回以上塗布してください。

\*2. 脆弱下地への表面浸透強化目的での塗布は、下地の状況により塗布回数が2回以上となる場合がございます。

\*3. 塗布量は下地の状態(気温、含水、フリージング、硬化時間、塗布するタイミング)により異なります。

\*4. 塗布するタイミングや硬化具合によって、塗布量は変化します。

\*5. 塗布量が多すぎたり、液だまりができてしまうと色ムラになる場合がありますので、ご注意ください。

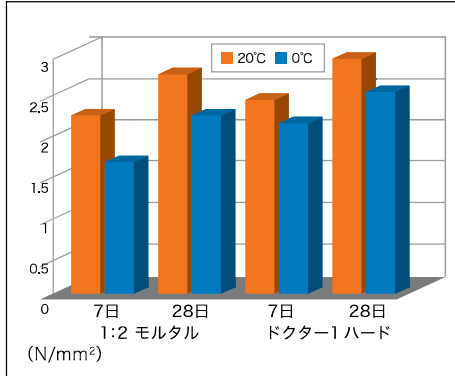
## 使用用途① 接着増強プライマー

### 使用方法

- 下地の浮きやクラックは事前に補修をしてください。その後、清掃・洗浄し、乾燥させてください。
- 下地にプライマーコートを塗布(0.15kg/m<sup>2</sup>)してください。
- プライマーコートの乾燥を確認後、次工程を行ってください。

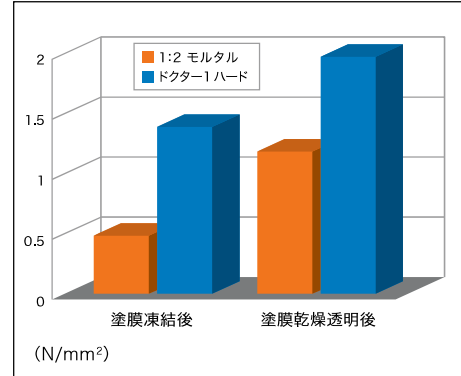
### 性能試験

接着力試験(低温養生(0℃と20℃の比較))



【モルタル配合】①普通セメント:川砂= 1:2 W/C=4.4%  
②ドクター1ハード  
【プライマーコート塗布量】 0.15kg/m<sup>2</sup>  
【モルタル塗り厚】 5mm厚  
【養生】材令7日まで0℃の養生室  
材令28日まで20℃で室内で封かん養生

接着力試験(低温養生(-5℃の状況別))



【モルタル配合】①普通セメント:川砂= 1:2 W/C=4.4%  
②ドクター1ハード  
【プライマーコート塗布量】 0.15kg/m<sup>2</sup>  
【モルタル塗り厚】 5mm厚  
【養生】①塗膜凍結後 -5℃でプライマーコートを塗布し、凍結させた状態で、モルタルを塗布  
②塗膜凍結後解凍 -5℃でプライマーコートを塗布し、凍結させた後、20℃の室内で解凍。透明になるまで乾燥させた状態でモルタルを塗布

## 使用用途② 表面浸透強化

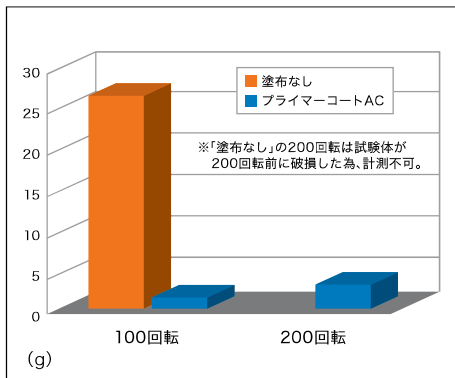
### 使用方法

- 下地の浮きやクラックは事前に補修をしてください。脆弱が激しい部位は完全に取り除いてください。
- 下地を清掃・洗浄し、乾燥させてください。その後、プライマーコートを塗布(0.30kg/m<sup>2</sup>)してください。
- プライマーコートの乾燥を確認後、次工程を行ってください。

※脆弱下地への表面浸透強化目的での塗布は、下地の状況により塗布回数が2回以上となる場合がございます。

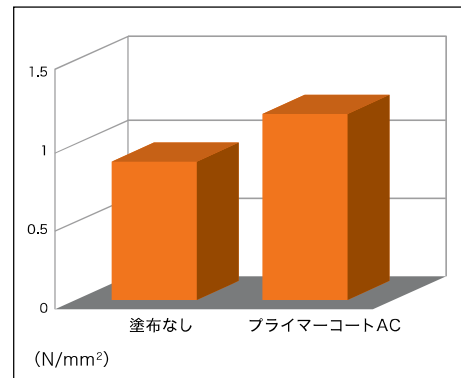
### 性能試験

耐摩耗性試験(摩耗量)

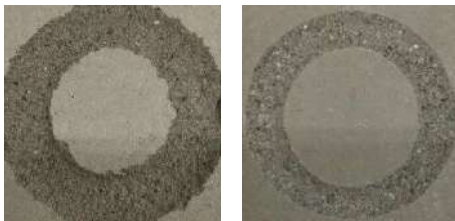


【モルタル配合】普通セメント:川砂= 1:4 W/C=65%  
【プライマーコート塗布量】 0.3kg/m<sup>2</sup>  
【養生】20℃ 封かん養生  
【試験規格】JIS K 5600 テーパー式耐摩耗性試験  
摩耗輪 H22 回転数 60rpm/min  
荷重 9.8N 厚さ 10mm

接着力試験(脆弱下地(材令14日))



【モルタル配合】普通セメント:川砂= 1:4 (下地)  
W/C=65%  
【プライマーコート塗布量】0.3kg/m<sup>2</sup>  
【養生】20℃ 気中養生



塗布なし

プライマーコート塗布

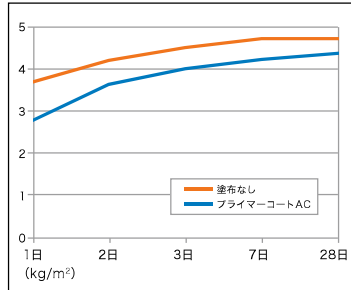
## 使用用途③ 乾燥防止被膜養生

### 使用方法

- 打設したモルタル・コンクリート表面の浮き水が無くなった事を確認してください。
- 噴霧器等を使用して標準使用量に従い、均一に塗布してください。
- 降雨・降雪などを避け、適切な養生をおこなってください。

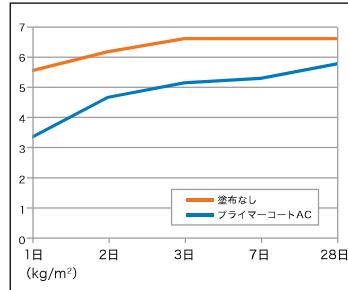
### 性能試験

コンクリート被膜養生性能(水分蒸発量測定)



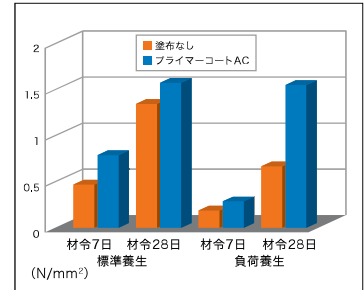
【コンクリート配合】普通 24-18-20N  
 【プライマーコート塗布量】0.2kg/m<sup>2</sup>  
 【養生】気温40℃ 湿度40%  
 【試験規格】ASTM C156に準拠

モルタル被膜養生性能(水分蒸発量測定)



【モルタル配合】普通セメント：川砂 = 1：3  
 W/C=60%  
 【プライマーコート塗布量】0.2kg/m<sup>2</sup>  
 【養生】気温40℃ 湿度40%  
 【試験規格】ASTM C156に準拠

接着力試験(標準養生/負荷養生)



【モルタル配合】普通セメント：川砂 = 1：3  
 W/C=60%  
 【プライマーコート塗布量】0.2kg/m<sup>2</sup>  
 【モルタル塗り厚】5mm厚  
 【養生】①標準養生 材令28日まで20℃ 封かん養生  
 ②負荷養生 24時間まで40℃の養生室  
 材令28日まで屋外養生(25℃~35℃)

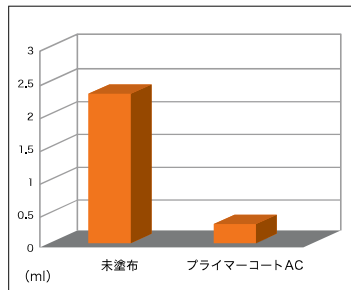
## 使用用途④ コテ仕上げ補助剤

### 使用方法

- モルタル・コンクリート打設後に噴霧器などを使用して、均一に塗布してください。
- 定規ずりやトンボなどで均しながら、表層にプライマーコートを練り込みます。
- 通常通りにコテ押さえを行い、仕上げ作業を完了させてください。

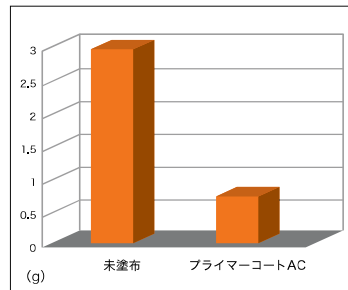
### 性能試験

透水試験(24時間後の透水量)



【下地】フレキシブルボード  
 【プライマーコート塗布量】0.2kg/m<sup>2</sup>  
 【試験規格】JIS A 6916に準拠

吸水試験(モルタル板)



【下地】JISモルタル板  
 【プライマーコート塗布量】0.2kg/m<sup>2</sup>  
 【試験規格】JIS A 6916に準拠

### 施工上の注意

- 下地にクラックや割れ剥がれが発生している場合は、事前に補修してから次工程に入ってください。
- 下地の脆弱が激しい場合は、脆弱部分は全て、剥がし取ってから施工してください。
- プライマーコートAC は-2℃から-3℃程度で凍結開始します。凍結には注意して保管してください。
- 塗布したプライマーコートACが凍結した場合、加温して透明の造膜形成後にモルタルを塗布してください。
- 寒冷地でのモルタル施工は、ドクター1を使用すると接着力が向上します。
- 寒冷地でのモルタル施工は、-5℃以上で施工し、養生温度を上げてください。

### 取り扱い上の注意

- 取扱い時は、必ず保護具(保護手袋、保護眼鏡、マスク等)を着用し、換気の良い場所で行ってください。
- 取扱い後は、うがい、手洗いを充分に行い、使用した工具類を早めに水洗いしてください。
- 目に入った場合は直ちに多量の水で洗顔を、医師の診断を受けてください。
- 皮膚に付着した場合は、直ちに水で洗い流し、必要に応じて医師の診断を受けてください。
- 誤飲した場合は、多量の水を飲ませ、吐かせた後、医師の診断を受けてください。
- 湿気・直射日光を避け屋内で保管することとし、他容器に小分けして保管しないでください。
- 廃棄の際は都道府県知事許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して処理してください。
- ご使用前にSDS(安全データシート)を熟読してください。

セメント混和・助材総合メーカー



株式会社 マノール

<http://www.manol.co.jp/>

本社・東京営業所 / 〒120-0047 東京都足立区宮城2-4-16 TEL.03(3927)1331 FAX.03(3927)1334  
 福島営業所 / 〒960-8075 福島県福島市下野寺字遠原3-2 TEL.024(591)1131 FAX.024(591)1127  
 盛岡営業所 / 〒020-0122 岩手県盛岡市みたち2-1-17 TEL.019(641)1131 FAX.019(641)1332  
 大阪営業所 / 〒535-0005 大阪府大阪市旭区赤川2-1-26 TEL.06(6927)3132 FAX.06(6927)3130

特約店